

2015
4月
第54号

かい 海 陽

公民館報



平成26年度 海陽町公民館大会

テーマ：「人が輝き、地域が輝くコミュニティづくり ～公民館が果たす役割を考える～」



建築家 歌一洋さん

3月8日(日)海南文化館において、『人が輝き、地域が輝くコミュニティづくり～公民館が果たす役割を考える～』を大会テーマに町内の公民館関係者をはじめ、およそ約240人が集まりました。

乃一公民館長、岡田教育長の挨拶の後、海陽町出身の建築家歌一洋さんによる、講演が「感性を育まれた古里の風景そして、ヘンロ小屋プロジェクトへの思い」と題して行われました。

また、午後から公民館交流芸能大会が行われ、地域の皆さんによる各種芸能が披露されました。





合唱



舞踊

民踊



ダンス



舞踊



「人権力」ですみよい町に！

格差と人権 ①

社会教育指導員 佐藤和久

最近、格差の問題がテレビや新聞でよく話題になっています。格差問題には経済格差、教育格差、地域格差などいろいろありますが、「どれも資本主義社会の特性であつて、仕方のないことである」という見方をされることが多いようです。しかしながら、よく考えてみますと、格差問題の内側には人権を侵害する要素が多く含まれています。そこで、これから数回にわたりこの格差問題を取り上げてみたいと思います。

『21世紀の資本』から 見えてくるもの

フランスの経済学者トマ・ピケティが書いた『21世紀の資本』という本が世界的なベストセラーとなりました。700ページに及ぶ厚い本ですが、そこに

書かれている注目すべきポイントは、「1%の人（富裕層）が世界中の富の約50パーセントを所有し、残りの50パーセントを99%の人が分け合っている」ということと、「富裕層の資産から生み出される利益（株の配当や利子などの不労所得）が労働から得られる所得の総額を上まわると、社会が持続不可能になる」ということです。



ピケティは過去数百年に及ぶ世界の経済的データを分析し、その結果、格差が広がると社会が持続できなくなってくると言

います。わずかの人が多くの富を所有し、残りの多くの人はずかの富を分け合うという社会構造は誰が考えても不平等であり、ほとんどの人が安定した生活を送ることができません。アメリカほどではありませんが、ここ20年くらいで日本の格差も急激に広がっています。格差の拡大を見る目安の一つに貧困率があります。日本の貧困率は現在、OECD諸国の中ではアメリカに次いで世界第2位です。子どもの貧困率も同様に高い状態にあります。

自殺者も格差の広がりにつれて増加しています。2013年の日本の自殺者は2万7千人を超えています。理由の多くは負債や病気、生活苦などです。自殺者が多いというのは社会が荒廃している証拠であり、生存権

が保障されていないことを意味します。

日本は資本主義原理の上で発展してきた国です。その過程で得られたものについては評価できる部分もあるでしょう。しかし、資本主義が押し進めてきた競争原理や経済のグローバル化、コーポラティズム（大企業による政治や社会の支配）などは、ともすれば弱者を切り捨てるといった側面を持っています。「負け組は能力がない、努力がたりない」という理由で片付けられます。ところが、生まれながらの家庭環境や経済格差などは変えようがありません。生まれたときからすでにハンディがあるのです。これは、部落差別とある面よく似ています。このようなことをしつかり認識し対応していかないと、私たちの社会は間違った方向に行ってしまう。

もとにもどつて、では格差拡大の解決策はあるのでしょうか。ピケティは、格差を少なくする最も効果的な方法は、資産と所

得の両方について累進的な税を課す（富裕層にたくさん税をかける）ことだと言っています。言いかえれば、富の再分配をしましょうと言っているのです。このような考え方に対して異論があるのは確かです。しかし、人権の視点からすると、格差拡大がすみよい社会をつくる上でマイナスに働くのは確かです。

憲法第25条には「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」が示されています。「健康で文化的」とは、経済格差によって先が見えない不安な生活を強いられることではありません。

経済格差は放っておくとますます拡大していきます。そして、差別や暴力が横行するようになってきます。私たちは、格差の中に潜む非人間的な考え方やシステム、そして理不尽な政策などに常に目を向け、すべての人が安心して暮らせる社会へと転換させる努力を常におこなっていく必要があるのではないのでしょうか。

情けは人のためならず

「親切をすればやがて良いことが自分に返ってくる」

みなさんはこのことばについて、どう思われるでしょうか。

私自身について言えば、「何となく分からないでもないが、今ひとつ説得力がないのではないか」そう思っていました。そんなとき、同じ職場の方から新聞の切り抜きを渡されました。そこには、自分の中のもやもやしたものを取り除くような趣味深い内容が書かれていました。良いコミュニケーション作りのヒントになるのではと思いましたので簡単に紹介します。

「相手に良いことをすれば自分に返ってくる」

この命題を実験で実証したのは、大阪大の大西賢治氏。保育園の園児70人を対象に、親切な行動をよくとる12人を「親切児」と規定しました。親切児が他の園児に物を貸したり、何かを手伝ってあげるなどの親切をしたとき、近くにいた子が10分間にどのような行動をとったかを250回にわたり調べました。結果はというと、親切な行動をとったとき、その行動は周りの子の「手伝う」とか「親しく話しかける」などの良い行動となって返ってきたのです。下心も欲も絡まない純粋な心を持った園児が示してくれた結果であるので、より大きな意味を持っているように思います。



「情けは人のためならず」ということばは昔からよく使われてきました。残念なことに現在ではこの言葉を、「情けをかけることは相手のためにならない」という意味で使うことが多いようです。しかし、もともとの意味は、「情けをかけるとそれは回り回って自分に返ってくる」、「親切をすればやがて良いことが自分に返ってくる」ということです。昔の人は、物事の真髄を見極めていたのかも知れません。

関船展示館オープン！



平成27年5月1日(金)、阿波海南文化村に関船展示館がオープンします。

浅川天神社の祭礼で使われていた関船(船型だんじり)を展示しています。

海陽町には、穴喰の八坂神社祇園祭や八幡神社の祭礼と、大里八幡神社の祭礼に、関船やだんじり等の山車が曳き出され、古来からの伝統的な祭礼行事が、いまも守り伝えられています。

地域おこし協力隊員

島田佳香さん



はじめまして、島田佳香(しまだよし)と申します。

私は海陽町出身で、18歳まで穴喰に住んでいました。

大学院で社会史(近世)を専攻し、学芸員資格も取得しています。

修了後は、東京で編集者や校正者またライターとして、書籍や印刷物の制作に携わってきました。

今回、地域おこし協力隊として、海陽町の学校教育および博物館等の改善事業に取り組んでいきます。実は海陽町にいた頃は、大里古墳や海部氏の海部刀、穴喰の鷲住王や祇園さん等、知ってはいましたが、地方史の一つとしか見ていませんでした。

また、漁業や農業がさかんなこと、海底公園や海部川の美しさや寒茶等を知ってはいても、特別な想いはありませんでした。

しかし、時代の流れが変わり、食料や水の安全性が問題視され、大都市偏重主義や効率性重視の価値観が行き詰ることができる世の中になってきたことを

を実感する中で、歳月を重ねるごとに故郷の存在が重みを増していくことに気づきました。

こうして協力隊として海陽町にリターンしてきて、私自身が海陽町を再発見し、学び直しているところです。故郷に帰り故きをたずねていくことで、新しく塗り替えられていくことを日々新鮮に感じています。

海陽町で育つ子どもたちや若い方々に、このような私の実感をお伝えしていきたいと思っています。



第10回

海陽町文化協会祭

会場：阿波海南文化村

作品展示

5月1日(金)正午～
5月6日(水)

絵画 写真 書道 水墨画 俳句 短歌 川柳 絵手紙
押し花 等



芸能発表

5月10日(日)
午後1時30分～

カラオケ 民踊 日舞 阿波踊り 琴 三味線 合唱
ダンス 詩吟 詩舞 等

体験教室…5月5日(火)・6日(水) (AM10:00～PM3:00)

押し花体験教室(マグネット・ストラップ等)

料金/材料費 100円～



いま、いちばん大切にしたい、家族の愛の物語。

字幕入り

入場無料

どなたでもお誘い合わせのつえ、お越し下さい。

日時・5月5日(火・祝)

①10:00～12:00 ②14:00～16:00

場所・海南文化館ホール

主 催・海陽町教育委員会

お問い合わせ・TEL 0884-73-3100

第40回企画展

「海陽の歴史と文化

～県南のあけぼのから大里古墳まで～」より



一山氏講演

3月7日(土)から開催中の海陽町立博物館第40回企画展「海陽の歴史と文化 ～県南のあけぼのから大里古墳まで～」の関連事業として、ワークショップ「勾玉づくり」を3月15日(日)と3月22日(日)の2回(いずれも午前中)、工芸館で行いました。一部保護者等を含む町内の小学三年生から六年生まで、延べ33名が参加しました。

当館^{いちやま}首席学芸員の^{いっさ}一山典が作り方を指導し、材料の滑石に下絵を描き、ノコギリやヤスリ、サンドペーパーで削って、きれいな勾玉の形に仕上げました。最後は穴の部分に好きな色のひもを通し

て、手作りのアクセサリができました。できあがった勾玉を手にした児童たちは、笑顔で互いの作品を見せ合っていました。

また、同日午後には、博物館エントランスロビーで、企画展記念講演会(展示解説を含む)が開かれました。3月15日(日)は、「考古



資料が語る県南のあけぼのから銅鑿まで」(講師：当館 一山典、3月22日(日)は、「考古資料が語る県南の古墳文化」(講師：当館 郡司早直)を行い、町内や牟岐町からの来場者延べ43名が聴講しました。

なお、本企画展は、5月10日(日)まで開催されます(5月7日は休館)。当展覧会の入場料は無料です。

まがたま
勾玉作り

4月5日(日)

第10回 小学生6人制バレーボール海陽大会

Aゾーン 会場…海陽中学校 優勝：宝田ジュニア 準優勝：由岐JVC 3位：海南バンビーズ・新野クロールバース

Aコート	試合順					
①	加	茂	0	-	2	相 生
②	海	南	2	-	0	佐 那 河 内
③	由	岐	2	-	0	加 茂
④	岩	脇	0	-	2	海 南
⑤	相	生	0	-	2	由 岐
⑥	佐 那 河 内	2	-	0	岩 脇	
準決勝	由	岐	2	-	1	海 南

Bコート	試合順					
①	鷲	敷	0	-	2	宝 田
②	新	野	2	-	0	津 田 浜 っ 子
③	牟	岐	2	-	1	鷲 敷
④	北 井 上	0	-	2	新 野	
⑤	宝 田	2	-	0	牟 岐	
⑥	津 田 浜 っ 子	2	-	1	北 井 上	
準決勝	宝 田	2	-	1	新 野	

決勝	宝 田	2	-	0	由 岐
----	-----	---	---	---	-----

Bゾーン 会場…穴喰小学校 優勝：城南ジュニアスポーツ少年団 準優勝：穴喰杉の子 3位：桑野インパルス・羽ノ浦JVC

Dコート	試合順					
①	井	川	0	-	2	新 開
②	穴	喰	2	-	0	喜 来
③	桑	野	2	-	0	井 川
④	大 城 野 山	0	-	2	穴 喰	
⑤	新 開	1	-	2	桑 野	
⑥	喜 来	0	-	2	大 城 野 山	
準決勝	穴 喰	2	-	0	桑 野	

Eコート	試合順					
①	城	南	2	-	0	津 乃 峰
②	羽 ノ 浦	2	-	0	中 野 島	
③	椿	0	-	2	城 南	
④	日 和 佐	1	-	2	羽 ノ 浦	
⑤	津 乃 峰	2	-	1	椿	
⑥	中 野 島	0	-	2	日 和 佐	
準決勝	城 南	2	-	0	羽 ノ 浦	

決勝	穴 喰	0	-	2	城 南
----	-----	---	---	---	-----

Cゾーン 会場…海陽中学校

優勝：穴吹レッドファイターズ 準優勝：三庄キッズバレーボールクラブ



Bゾーン準優勝した、穴喰杉の子の選手

Cコート	試合順					
①	穴	吹	2	-	0	生 比 奈
②	加 茂 谷	1	-	2	小 松 島	
③	富 岡	2	-	1	大 松	
④	三 庄	2	-	0	加 茂 谷	
⑤	大 松	0	-	2	穴 吹	
⑥	小 松 島	1	-	2	三 庄	
⑦	生 比 奈	2	-	1	富 岡	
決勝	穴 吹	2	-	0	三 庄	

宗喰俳句 三月

窓開けて春つばいねと独り言 梅田千恵子
 豆撒きの声のひびきのおおらかに 中島 時
 路のとう味噌汁に入れにつこりと 陸田ヨネ子
 春一番道路に転げ植木鉢 鍛冶田 晟
 山越えて土佐から研屋春日和 元木朱子
 ひなまつり音楽はやく聞きたいな(小二) 石崎りんか
 生かされて菜の花畑の黄の中に 長岡達江
 鬼は外声に追われて明日は春 外山千佳
 落椿雨につたれて震えおり 樽井みつ子
 花びらのひとひら表春近し 山本球子
 まつしろな皿にパン置く春の朝 間戸谷恵子
 冬座敷義母のかたみの桐箆だんす 川野佳代
 バレンタイン・デーの靴箱空のまま 新井駿也
 鍬を振る腰痛春にもちこんで 中岡啓泰
 この家も空家となりぬ春霞 阿津敏美
 卒業歌まぶた閉づればあの頃に 寺崎照代
 ふと鳴いたような気にして鶯餅 新井久実
 水槽の中は空つば春の暮 木下野生

海南俳句 二月句会より

七回忌かの日と同じ春の月 橋本幸子
 大枯野またサイレンの鳴ってくる 田中たち子
 音凍る白ひと色の北の国 山本達平
 紅梅の色冴えてなおかおり立つ 新居利之
 順逆の遍路親しげ海道沿ひ 叶岡陽二
 如月の茶毘の煙となりし友 廣瀬克子
 世に倣い夫にそつと洋酒チョコ 森口豊子
 訪ね来て先づは目に入る沈丁花 津川須美江
 初音聞くカメラ構えて身動かず 森 浩子
 早春の広き田園われ一人 鍛冶崎郁夫
 敬愛す友の便りや寒椿 岳山祐弘
 木の裏植つ希望と夢をつつみ入れ 平道はつ子
 正札に重ねる値札春隣 谷口洋根子
 国策の杉が雪道通せんば 冨田聞二
 薄氷の張りし溜りで猫戯れて 坂本節子
 下校の児母にみやげのいぬぶぐり 武知陸子

海部ひまわり俳句

猫の恋関係なしと犬眠る 津田 一
 着ぶくれの声援の前走者駆け 西本公明
 多種多様鶯鶯咲く日々よ人生ひまわりきよ 榊原礼子
 眠り覚めぬ枕のくぼみ春浅し 南 歌子
 風流マラソンランナー応援春どつと 松田嘉子
 改札を出れば田園青き踏む 元木美枝子
 難関のセンター試験春の雪 佐藤美代子
 孫おんぶトーンキャツキャと花火見て 穴戸道子
 硝子窓春日眩しき少女あて 岡 育代
 春風や幸せと思う事すなり 川野 照美
 青空の巨大キャンパス白紅梅 福田敦子
 僕は誰犬鶯虎まあ同じだ 関山無門



海南短歌会

「がんばる」と得心の書をなした子に心なきことよ何思つらん 大久保スエ子
 風なかを鳥はよろけて飛び立てりかしかむ両手振りて歩けば 土谷公代
 大里の垣根迷路はふくいくと梅の香満つる時となりたり 桑村未貴子
 幾晩も取り込み忘れし切り干しの良き仕上りのなにやらおかし 細野綾子
 菜の花の伸びあがりたる裏畑に雉子の鋭き二声を聞く 蛭子美恵子

宗喰短歌会

くれなずむ野辺に直立つ芒穂のわれよりもなお淋しき静寂 大黒千枝美
 枯尾花手触れば架の放たれてわが夢淡く空流れゆく 石井町子
 朝掘りの竹の子抱けばみずみずと菜の花ゆるる中に遊べり 山崎千栄子
 野辺ゆかは草花芽吹き陽は満ちて遠き想い出めぐる幸せ 桑野亀乃
 古寺の赤きよだれの地蔵たち安らかなれとほほえみの春 舛谷恂子
 何処より何処行くのか束の間を波上やすろう水鳥哀し 三野みよ子
 白蓮の亡母に宛てたる手紙読めばドラマのシーン蘇りくる 田井晴代

網代川柳三月句会より

温暖化地球をこわし世も不安 福岡純山
 内外を問わず不穏な風が吹く 高木柳月
 世直しの風が吹いても過疎は過疎 太田一洋
 雪降ろし雪掻きもなく住める町 中村あかり
 輝いた過去を包んでいる野良着 風呂谷いずみ
 ふる里を詰め込み送る母心 北川弥生
 ありがとう連発にして日々平和 石垣小道
 誤解から人間不信曇る空 黒岩一平
 不用意な言葉意外な風を呼ぶ 井上可楽
 前よりも若くなつたとおだてられ 池田善笑
 政治家の公私混同政活費 山本三久



阿波海南文化村祭

こども文化村

《参加無料》 藍染め体験のみ
ふくさ1枚 200円

いろんな体験をしよう!

図書館お話会

午前 10 時～ / いきいき館
午後 2 時～

5/5
火



ロビン・ロイドの 見える音、聞こえる絵 ミュージック&アート

午前 9 時～ 10 時 / 工芸館
(参加定員 30 名)

5/6
水

ロビン・ロイドの 世界民族音楽 の旅

午前 11 時～ 11 時 40 分 / 博物館



5/5
火
6
水

春の野点 (茶道体験)

午前 9 時～ 午後 3 時
文化館和室



5/6
水

移動図書館車 図書貸し出し

午前 9 時～ 午後 4 時

5/5
火

minori のかわいい! ポップでキュートな酪細工

午前 10 時～ 午前 11 時
午後 1 時～ 2 時 / 工芸館前



5/6
水

中川 学さん ロビンとガクの 絵本展

午前 9 時～ 午後 5 時 / 博物館



5/5
火

藍染め体験 (藍染めふくさ作り)

午前 9 時～ 午後 4 時 / 工芸館



5/2
土
6
水

徳島映画センター 「ももへの手紙」上映

午前 10 時～ 12 時 / 午後 2 時～ 4 時
文化館ホール



5/5
火

海陽町立博物館 勾玉づくりを やってみよう!

午前 9 時～ 午後 3 時



5/5
火
6
水

海陽町文化協会 作品展示

午前 9 時～ 午後 5 時

5/5
火
6
水

この他、阿波海南文化村内では
ヨーヨー釣り、
スーパーボール
すくいなど…
(一部有料)

劇団レインボー 「明日につなぐ」

午後 2 時 30 分～ 4 時

5/6
水